

1. 授業の基本情報

本授業は学部特別支援教育専門科目であり、中野広輔教授、富田の2名で担当した。登録学生数は40名で、うち4名は大学院生であった。

2. 授業評価・授業研究の内容

(1) 問題と目的

本授業では、重複障害や発達障害に関する理論的な内容を扱った。講義に際しては、具体例を示しながら理論を伝えること、グループワーク等で知識をアウトプットする機会を設けることを心掛けた。また、アカデミック・リテラシーに関する活動として、授業内容に関連して自らが興味を持つ論文を調べ、まとめる課題を課した。これらの教授法の効果について検討することを目的とし、授業アンケートを実施した。

(2) 方法

修学支援システムを通じて受講生にアンケートを送付した。アンケートはGoogle formで作成し、受講生は無記名で回答した。回答に際しては、富田担当回について答えるよう指示した。実施期間は2023年2月20日から2月23日であり、回答数は16、回収率は40%であった。アンケートの項目と回答方式を表1に示した。

表1 アンケートの項目と回答方式

アンケート項目	回答方式
①授業の内容はあなたの役に立ちましたか？	選択 4件法
②教員の話し方や説明は分かりやすかったですか？	
③配付資料やプリント等の教材は適切でしたか？	
④授業の進度は適切でしたか？	選択 5件法
⑤授業のレベルは適切でしたか？	
⑥この授業1回につき、平均してどの程度時間外学習をしていましたか？	選択 4件法
⑦あなたが学びたかった内容を学ぶことは出来ましたか？	
⑧この授業の良い点について教えてください	自由記述
⑨この授業の改善すべき点について教えてください	

(3) 結果と考察

アンケートの結果を図1から図6、表2に示した。なお、項目1「授業の内容はあなたの役に立ちましたか？」については、16名全員が「とても役に立った」と回答した。項目9「この授業の改善すべき点を教えてください」については6名が回答し、すべて「特になし」に類する内容であった。

2. 教員の話し方や説明は分かりやすかったですか？

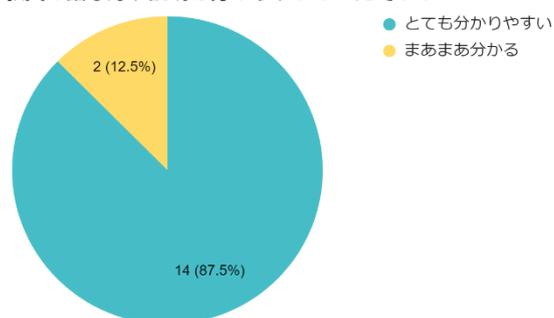


図1 項目2の回答内容

3. 配付資料やプリント等の教材は適切でしたか？

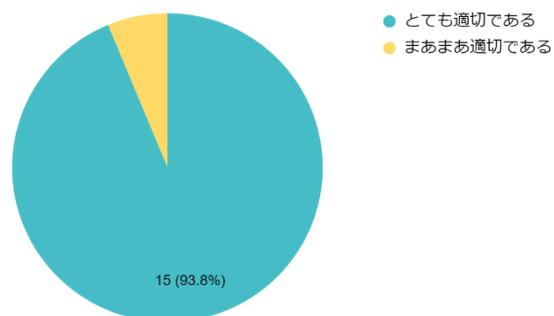


図2 項目3の回答内容

4. 授業の進度は適切でしたか？

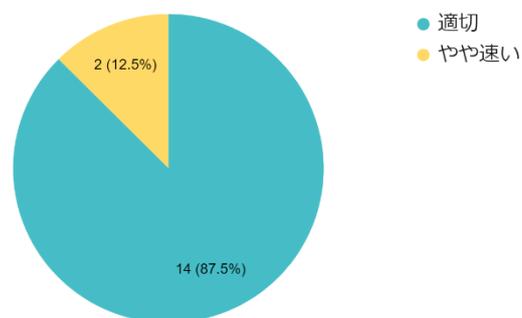


図3 項目4の回答内容

5. 授業のレベルは適切でしたか？

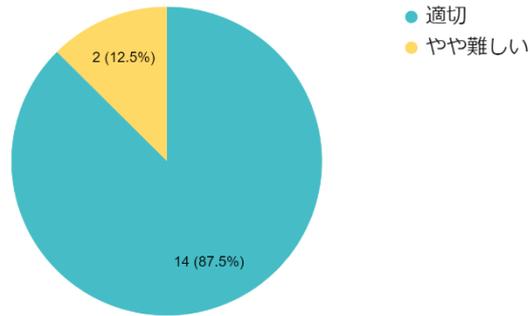


図4 項目5の回答内容

6. この授業1回につき、平均してどの程度時間外学習をしていましたか？

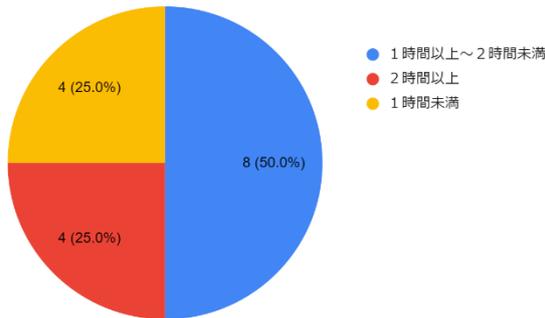


図5 項目6の回答内容

7. あなたが学びたかった内容を学ぶことはできましたか？

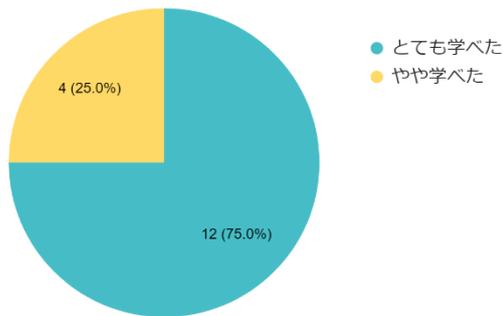


図6 項目7の回答内容

授業内容、教員の説明の分かりやすさ、教材の適切さについては否定的な回答はなかったものの、授業の進度、授業レベルについては「やや速い」「やや難しい」との回答がそれぞれ2件あった。取り扱う内容を精選すると共に、学生の理解を促進する教材を選定したり、丁寧に理解度を確認したりして、より分かりやすい授業を目指したい。また、学びたかった内容を学ぶことができたかについては、「やや学べた」との回答が4件あった。オリエンテーションを丁寧に言い本授業の内容を詳細に伝えると共に、学生のニーズを的確に把握するための方法を検討していきたい。

表2 ⑧「この授業の良い点について教えてください」に対する回答内容（原文ママ）

質問に対する回答
実際の現場の話や対応した話が多く盛り込まれていて、資料や調べるだけでは分からないことを多く学ぶことが出来た。
理論だけでなく、時事的な話題を含めた内容だったところ。
実際の指導例から学ぶことが出来た
毎回確実に資料の共有があった。調べ学習のやり方や学んでおいた方がいいことなど、これからの役に立つようなことを多く教わる事が出来た。
授業内容と関連のある論文を読んでまとめる等の課題に取り組み、より理解が深まった。説明が分かりやすく、特に、発達障害についての話が心に残っている。
換気の時間があつた点、ペアやグループで考える時間があつた点。
先生の体験をお話に混ぜえつつわかりやすい授業をして下さり、また、パワポも見やすく、後日復習しやすい授業にしてくださっていた点がとても良かったです。
先生の体験談をもとに学ぶことができる。
先生の経験談を交えながら授業であったため、学校の実態を知ることが出来た。
先生が楽しそうに授業をしてくださるので、自分も楽しく学ぶことが出来た

本授業の良かった点については、10名から回答があった。その内、5名の回答に「実際の現場の話」「実際の指導例」「先生の体験」「先生の体験談」「先生の経験談」といった、具体例に基づいた説明に関する肯定的な記述があった。「説明が分かりやすく」「楽しく学ぶことが出来た」との記述も見られ、具体例を交えながら理論を説明することで受講生の理解が促されたと考えられる。

また、教材に関しては「毎回確実に資料の共有があった」「パワポも見やすく、後日復習しやすい授業」との記述があった。アンケート項目3の教材に関する項目でも、「とても適切である」を選択した受講生が16名中15名であった。本授業では、事前にMoodleにスライド資料を掲載し、それぞれの受講生がプリントアウトしたりタブレット端末で確認したりするなど、自分に合った方法で資料を参照できるようにしていた。教材に関する評価が概ね高かったことから、今後もより良い教材の提示方法を工夫していきたい。

時間外学習に関しては、「調べ学習のやり方や学んでおいた方がいいことなど、これからの役に立つようなことを多く教わる事が出来た」「授業内容と関連のある論文を読んでまとめる等の課題に取り組み、より理解が深まった。」との記述があった。論文の検索方法やまとめ方などは、それだけを取り上げて学ぶ機会が少ないため、今回の授業のように課題に取り組む中で体験的に学ぶことができるよう配慮していきたい。